

呉市社会福祉協議会 ことばのねっこ教室 支援プログラム

法人理念		「ご近所からほほえみがえしが広がるまちづくり」～誰もが住み慣れた地域で暮らし続けることができるまちづくりをめざします。		
支援方針		個別支援計画に基づき就学前のお子様の発達支援を継続的にを行います。低年齢からの療育に対応し個々の活動を充実させるとともに、ことばの土台となる心身の発達を育てます。就学に向けて興味関心や意欲、自己肯定感を高め、社会性の向上、将来の生きる力の基礎となる療育を創意工夫していきます。親の会活動や野外活動など特色ある活動の中で利用者同士の交流を図り、子ども・子育て支援を重点におきながら子ども理解や子育ての不安を軽減するための情報の提供や相談支援を行います。		
営業時間		午前8時30分から午後5時15分まで	送迎実施の有無	なし（親子通室）
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	避難訓練、防災絵本などを通して火事や地震時の行動や身の安全について学習をしたり、絵カード等でケガの防止や安全な生活について掲示やお話を通して一緒に考えたりしていきます。		
	運動・感覚	リトミックや運動遊具を使って楽しく遊びながら運動スキルを伸ばし、姿勢の維持に必要な体幹等を育てていきます。道具を操作し目と手の協応動作や手指の巧緻性を育て、生活に役立つ機能の向上を目指します。身体を動かしながらさまざまな感覚に慣れ、個々の感覚の過敏さ鈍感さに合わせながら経験を促していきます。		
	認知・行動	マッチング、ポインティングの課題などから事物の認識を育て、分類や概念、色形の認知、数の認知、表現、文字の理解など発達段階に合わせた認知課題をすすめていきます。サーキット運動やゲーム課題を通して、順番やルールを理解し行動や気持ちを自己コントロールする力を支援します。手順を具体的に図や言葉で示し活動の見通しを持ちやすくしたり、個別に環境設定をするなどして集中力や持続力を育てます。		
	言語コミュニケーション	語彙を増やす学習や遊び、絵や文字などを使って表情や状況を読み取る力、抽象的な事柄の理解、場面や相手の感情を理解しながら言葉のやりとりができるよう支援します。適切な言葉の理解や他者とのやりとりの方法を経験を通して学び「伝えたい」事柄や「伝える」気持ちを支援します。		
	人間関係社会性	お遊戯やペープサート、ごっこ遊び、役割のある遊びやゲームを通して一緒にして嬉しい楽しい気持ちを育み人や物に関わる力を育てていきます。ペアのお友達と遊びを共有し好きな遊びや関わって遊べる活動と一緒に楽しみながら共感する気持ちを育みその場にそった関わりができるよう支援します。		
家族支援		親子療育を通じて保護者と療育内容やお子様との関わり方について共有しながら相談援助を行います。きょうだい児や家庭の悩み事にも寄り添い機関連携や援助を行います。親の会活動で保護者同士の交流や学習の機会を提供します。		
移行支援		就園や就学、進学の際には情報提供を行いながら個々のケースにそった移行支援を行います。園や学校等と連携し、調整や情報交換等を行い円滑に移行できるよう支援します。		
地域支援 地域連携		各関係機関（園や学校、相談支援事業所、他事業所）との連携をはかり、必要に応じて連携をとりながら支援に活かします。年1回教室開放をして地域の方との交流を図ります。		
職員の質の向上		支援の質を向上させるため全職員が年1回以上施設外への研修や学習へ参加します。定期的な会議や事業所内研修（個別支援会議、虐待防止と身体拘束研修、感染防止、防災に関する研修等）を行います。		
主な行事等		遠足（年1回） しゅうりょう式（3月） 親の会（就学学習会・社会見学・講演会など）		

作成日：令和7年1月10日